

エクスクルーシブ 照明シリーズのご案内

THE PALE ROSE COLLECTION



公式オンラインストアおよびルイスポールセン東京で限定販売します。

*オフィシャルパートナーショップ（正規販売店）での取扱はございません。



VL45 Radiohus Pale Rose ペンダント

デザイン：ヴィルヘルム・ラウリッツェン

色：パール・ローズ

サイズ、価格：Φ175 ¥ 79,200 Φ250 ¥ 97,900



PH 2/2 Question Mark Pale Rose テーブル

デザイン：ポール・ヘニングセン

色：パール・ローズ、サイズ：Φ140 x H420mm

価格：¥ 244,200



PH 3½-3 Pale Rose 真鍮ペンダント

デザイン：ポール・ヘニングセン

色：パール・ローズ、サイズ：Φ327mm x H219mm

価格：¥ 258,500



PH 2/1 Pale Rose 真鍮テーブル

デザイン：ポール・ヘニングセン

色：パール・ローズ、サイズ：Ø200mm x H355mm

価格：¥213,400



PH 3/2 PALE ROSE テーブル

デザイン：ポール・ヘニングセン

色：パール・ローズ、サイズ：Ø285mm x H469mm

価格：¥ 254,100

*詳細はこちらよりご覧ください <https://louis Poulsen.showpad.com/share/rz3JrMIDzvfjdX8mOy7HJ>

新作のご案内



PH 2/2 Lunaテーブルランプ / Limited Edition

デザイン：ポール・ヘニングセン
 サイズ：Ø200mm H324mm
 価格：¥213,400
 ＊期間限定発売（2023年10月1日から12月31日まで）



VL56 ペンダント

デザイン：ヴィルヘルム・ラウリッツェン
 色：シルヴァー・クロームメッキ、真鍮無塗装、アルミまたは真鍮
 サイズ：Ø177mm H363mm 全長1900mm
 価格：真鍮ポリッシュ：¥129,800
 シルヴァー・クローム：¥108,900



AJ ランプシリーズ<新色追加>

デザイン：アーネ・ヤコブセン
 カラー：ウォーム・グレー、ソフト・レモン、エレクトリック・オレンジ、ウォーム・サンド、ダスティ・ブルー

AJ テーブル	H560mm	¥165,000～
AJ ミニテーブル	H433mm	¥133,100～
AJ フロア	H1300mm	¥184,800～
AJ ウォール	W116mm H180mm D318mm	¥128,700～



パンテラ 250 ポータブル

デザイン：ヴァーナー・パントン
 カラー：オパール・ホワイト
 サイズ：Ø250mm H347mm
 価格：¥83,600



フリント ガーデン ボラード

デザイン：クリスチャン・フリント
 色：アルミ色、コールテン鋼色
 サイズ：H800mm / H1100mm
 価格：¥92,400～



ビュステッド ガーデン ボラード

デザイン：ピーター・ビュステッド
 色：アルミ色、コールテン鋼色
 サイズ：H800mm / H1100mm
 販売価格 ¥ 114,400～

*商品の詳細はこちらよりご覧ください <https://louispoulsen.showpad.com/share/rz3JrMlDzvfjdX8mOy7HJ>

デザイナー紹介

Vilhelm Lauritzen ヴィルヘルム・ラウリッツェン (1894-1984)



ヴィルヘルム・ラウリッツェン (1894-1984) はデンマーク建築史のなかで最も重要な建築家のひとりで、デンマーク機能主義建築の先駆者です。ノーレブロ劇場 (Nørrebro Theatre, 1931-32)、デールス・デパート (Daells Varehus, 1928-35、現在のサンクトペトリホテル)、ラジオハウス (1936-41)、そしてモダニズム建築の傑作であるコペンハーゲン空港のターミナル39など、名作を多く手がけました。他にも、現在はコンサート会場Vegaとして知られる市民会館 (1953-56)、ワシントンのデンマーク大使館 (Shellhuset, 1958-60) が挙げられます。特にラジオハウスとコペンハーゲン空港のターミナル39はデンマークの指定建築物ともなり、ヨーロッパの建築における近代主義の象徴とされています。ラウリッツェンは生涯を通じ、建築は応用芸術だという考えを実践しましたが、彼は芸術 (art) と応用 (applied) に同等の比重を与えました。「美学なくして生活はない」というのも、彼の信念でした。ラウリッツェンは、自然光と人工照明両方を熟知していました。温かい日差しを採りこむ南西向き大きな窓と、北東からのクールな光を入れるスカイライトをミックスさせ、ラウリッツェンは常に自然光を建築に最大限利用しました。その結果、部屋の限られた壁だけが焦点になるのではなく、人々、インテリア、家具類が彫刻的な光のなかで陰影を持って際立ちました。ラウリッツェンは、照明器具に対しても同じ態度で向き合い、デザインを手がけました。一つの照明器具のなかに、方向性を持ってシャープな影をつくる直接光と、部屋全体を柔らかく映し出すソフトな拡散光の、2つの機能を持たせようとしています。

POUL HENNINGSEN ポール・ヘニングセン (1894-1967)



ポール・ヘニングセンとルイスポールセン社とのコラボレーションは1925年に始まり、1967年に亡くなるまで続きました。ルイスポールセン社は、今日もヘニングセンの天才の恩恵を受けています。ポール・ヘニングセンがパイオニアとして切り開いてきた照明分野の業績 影と光、グレア、光による色の再現、そしてそれら光の特性を人間の福利に結びつくように利用することは、いまもルイスポールセン社が実践するライティング・セオリーの基礎となっています。光をかたちづくる、というルイスポールセン社のデザインは、1926年にポール・ヘニングセンが完成させた3枚シェードシステム*のPHランプが持つ、デザインと光の二重性に遡ることができます。光と影、フォルムと機能、モダンとクラシック。光と製品のクオリティーの高さは、クラフツマンシップと新しいテクノロジーの両立で保たれます。

*3枚シェードシステム1926年、ポール・ヘニングセンが開発。対数螺旋構造を用いてシェードの曲線から均一に配光されるようになり、よりシェードの曲面全体にわたってなだらかな配光を得ることに成功した。シェード内面が反射する拡散光と合わさって、グレア（眩しさ）と影のコントロールを可能にしました。

Arne Jacobsen アーネ・ヤコブセン (1902-1971)

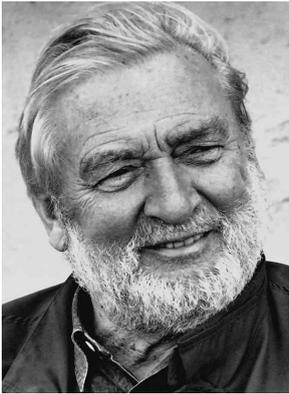


アーネ・ヤコブセンはコペンハーゲンで生まれ育ちました。1927年にデンマーク王立芸術アカデミーをアーキテクトとして卒業し、2年間コペンハーゲン市のシティー・アーキテクトとして仕事をした後、自身の設計事務所を開設しました。アーネ・ヤコブセンは、デンマーク建築のモダニストとして世界的に有名で、デンマーク、ドイツ、英国に数多く建物を残しています。最も知られた建築として、デンマーク国立銀行 (1971年)、SASロイヤルホテル (1960年)、オックスフォードのセント・キャサリズ・カレッジ (1963年) などが挙げられます。また、アメリカ建築界に強いインパクトを残せなかったのは、飛行機にたいする彼の恐怖心のせいだとも言われています。アーネ・ヤコブセンはアーキテクトとしての強い決定力を行使し、建物自体のみならず、ディテールの大部分のデザインに彼の意思を貫きとおしました。長年にわたり、ヤコブセンは自らの建築プロジェクトのための照明器具、家具、カトラリー、ドア・ハンドル、バスルーム金物、ファブリック、そして壁紙パターンにいたるすべてを手がけました。アーネ・ヤコブセンがデザインしたチェアの中では、「エッグチェア」や「スワンチェア」が最も有名です。

デンマーク内外で栄誉ある賞をいくつも受賞し、王立芸術アカデミーで11年間教授を務めたヤコブセンがデンマーク建築界全体に与えた影響ははかり知れず、彼のもとからは次世代のアーキテクトが次々と巣立ち、それぞれが独自の合理的かつミニマリスティックな建築手法を発展させています。

デザイナー紹介

Verner Panton ヴァーナー・パントン (1926-1998)



ヴァーナー・パントン (1926-1998) は、色、フォルム、そして光の機能と空間に対する独特なセンスをもったユニークなデンマーク人デザイナーで、そのカラフルで個性的なパーソナリティーはセンセーションを巻き起こしました。パントンは生涯を通じて、他のスカンディナヴィアのデザイナーとは一線を画したデザインにより、モダンなランプを次々と発表しました。フォルムの無限の可能性を信じ、彼は光の機能と効果についての新しいセオリーを生みだそうとし、そして成功したのです。

「わたしの仕事の主たる目的は、人々にもっとイマジネーションを行使するよう強いることなのだ。人々の多くは、グレーとベージュで味気ない日々をおくり、色を使うことを死ぬほど恐れている。ライティング、カラー、テキスタイル、家具、そして最新のテクノロジーを使った実験で、わたしは新しい方法を示したい。人々がファンタジーとイマジネーションを使い、生活環境をもっとエキサイティングなものにするよう、励ましたい。」ヴァーナー・パントンはこのように語っています。フォルム、色、機能についてパントンは明確な態度を持っていました。同時に、新素材、異素材を勇敢に採用したことは、当時のデザイン界においては「タイムレス」なデザインとしては受け入れられませんでした。彼のデザインへの今日の評価は、その誤りを証明しています。

Christian Flindt クリスチャン・フリント (1972-)



2002年にオーフス建築大学を卒業し、2003年に自らのデザイン会社を設立しました。ひとのコミュニケーションに重点を置いて家具デザインをみつめ直し、ひとびとに新しい関係をつくりだすような家具をデザインしようとしています。クリスチャン・フリントの新鮮で大胆なデザインは、彼が実験的なものに挑戦するデザイナーであることを物語ります。例えば、LED照明を発光させる大きなソファなど、まったく新しいアプローチのデザインも手がけています。

Peter Bysted ピーター・ビュステッド (1951-)



建築と工業デザインを専攻し1978年にオーフス建築大学を卒業しましたが、すでにその3年前には、ルイスポールセンが主催した『街並み保存地域のための照明器具コンテスト』で2等に入選し、コールテン鋼と鋳鉄でできたボラードライト「ビュステッド」をデザインしています。学生時代からグラフィックデザインにも興味を持ち、建築とグラフィックの両分野を手掛けるコミュニケーション・カンパニーとしてBysted A/Sを1987年にコペンハーゲンに設立します。彼は20年でこの会社をデンマーク最大の、最も成功したデザイン会社のひとつに成長させました。2007年にはBysted A/SをIntellecta ABに売却し、2年間デンマーク・デザイン・スクールの総長を務めた後、ICONO A/Sを設立してデザインの総合コンサルティングを開始します。照明器具以外にも幅広くデザイン活動を展開し、Falk、Nykredit、Nilfisk Advance、DONG Energyといったデンマーク企業へのコーポレート・アイデンティティ・プログラムのデザインや、2000年ハノーヴァー万博と2005年の愛知万博の北歐パヴィリオンの設計を行なっています。

掲載に関するお問合せ先: HOW INC.
MAIL. pressrelease@how-pr.co.jp
TEL. 03-5414-6405

お客さまお問合せ先: ルイスポールセンジャパン カスタマーサービス
MAIL. info@louis-poulsen.co.jp
TEL. 03-3586-5341(代表)